

BX

BX GROUP

BXグループ CSR報告書 2016



BXグループの概要



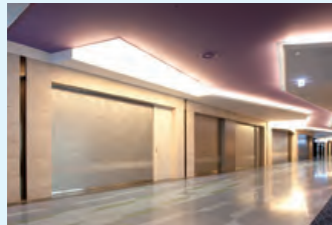
BXは、当社グループが常に未知への挑戦を続け、進化していく姿を示すシンボルです。

Bは文化シャッター全グループを、Xは未知数・無制限・掛け合わせる力を意味する「進化」を表しています。「BXグループ」は今日まで培ってきた技術・製品を基盤とし、さらに創造力や技術力、人間力を掛け合わせ未来に向かって進化し続けます。また、スカイブルーは、当社グループがめざす「快適環境のソリューショングループ」として、地球環境の美しさを象徴する青空の広がりをイメージしたものです。

快適環境のソリューショングループ

シャッター関連製品事業

軽量シャッター、重量シャッター、オーバースライディングドア、窓シャッター、電動開閉機などの製造、販売、施工を行っています。



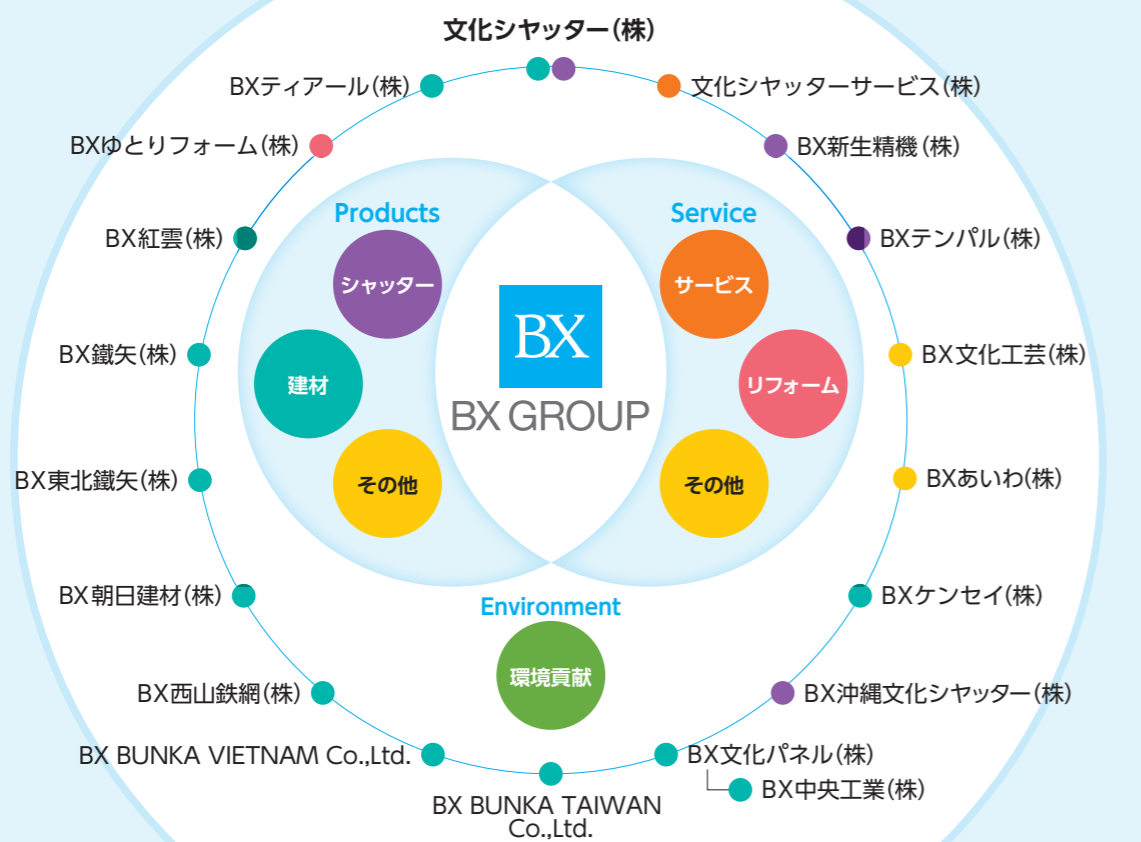
サービス事業

全国127ヶ所のサービスステーションで各種シャッター、金属製ドアなどの修理・点検業務などを行っています。

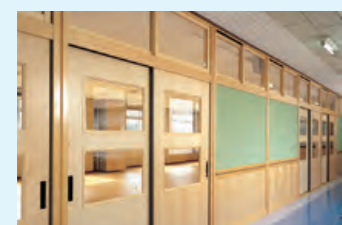


リフォーム事業

首都圏を中心に24店舗を展開し、スピード、提案力、施工力を活かしたリフォーム事業を行っています。



関連会社 文化シャッター秋田販売(株) 文化シャッター高岡販売(株) (株)エコウッド 不二サッシ(株)
Eurowindow joint Stock Company



建材関連製品事業

住空間、店舗、ビルなどの建築物におけるエクステリア建材、ドア、パーティションなどの製造、販売、施工を行っています。

環境貢献事業

リサイクル素材の木材・プラスチック再生複合材エクステリアや太陽光発電システムなど、環境に配慮した製品やサービスを提供しています。



WEB グループ会社：企業情報▶グループ会社

編集方針

本報告書は、ステークホルダーのみなさまにBXグループのCSRについてご理解いただくために、作成しています。

経年の編集方針

- BXグループのCSR憲章をもとにした章立てで構成します。
- BXグループのCSRの取り組みについて、ステークホルダーのみなさまにわかりやすくご報告することに努めます。
- BXグループの取り組みが、社会そしてステークホルダーのみなさまにどう評価されているかを受け止めるため、できるだけみなさまからのご意見をいただくように努めます。
- 取り組み内容をわかりやすくするために、個々の取り組みについて、担当者からの声を掲載します。
- 従業員数にはパート・嘱託は含まれません。

2016年度版の編集ポイント

- (1)代表取締役社長の交代にともない、BXグループが継承すべき伝統と文化について新会長、新社長の対談を実施し、掲載しました。
- (2)2016年度より、新中期経営計画がスタートしました。10年間の長期経営計画の集大成となる第3次中期経営計画(2013年-2015年)の成果と、新中期経営計画の概要をわかりやすくまとめました。
- (3)BXグループが推進する“ことづくり”を通じて、社会と共に持続的に成長することをめざす当社グループの取り組みを、「事業プロセスにおける社会・環境への配慮」「製品・サービスを通じた社会課題の解決」の側面から掲載しています。
- (4)社会的要請の高さと、BXグループが注力する事業活動の視点にもとづき、具体的な取り組みについて特集にまとめました。
- (5)CSRマネジメント報告では、CSR憲章をもとに、従業員を含めたステークホルダーの声を交えながら、活動のPDCA(目標→実績→成果→課題)が“見える・伝わる”編集としています。

情報提供について

WEBマークがある項目は、詳細・関連情報をホームページでご覧いただけます。

報告対象期間

2015年度(2015年4月1日~2016年3月31日)を報告対象期間としています(ただし、一部2016年度の報告も含んでいます)。組織・役職は2016年4月現在のものです。

報告対象組織

BXグループ全体を対象としています。文化シャッターのみ、あるいは特定の会社に限られる場合は、本文中にその旨を明記しています。

次回発行予定

2017年8月予定

目次

BXグループの概要	1
トップメッセージ	3
BXグループのCSR	7
BXグループの社会課題解決へのアプローチ	11

特集	自治体や企業のBCPを支援する「止水事業」	17
	浸水対策ソリューション	
	ステークホルダーダイアログ 産官民で顔の見える関係づくりを	19

CSRマネジメント報告	21
成長と共に	23

お客様の満足を追求
グループの成長・発展
誠実な企業経営

社会と共に	25
--------------	-----------

企業市民としての社会貢献
人道的社会貢献
文化活動の支援
BXグループのエリア活動

地球と共に	29
--------------	-----------

環境負荷を軽減した企業経営
環境配慮技術・商品開発
自主的な環境保全活動
環境負荷の全体像

働く仲間と共に	33
----------------	-----------

人権の尊重
雇用の創出
満足度の向上

コーポレート・ガバナンス	35
---------------------	-----------

第三者意見/第三者意見をいただいて	37
-------------------	----

会社概要	38
------	----

ホームページのご案内

BXグループの取り組みについて、より詳しい情報をホームページ上で公開しています。

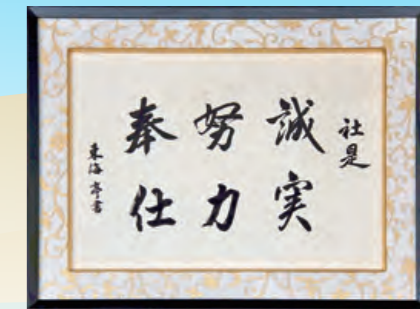
WEB <http://www.bunka-s.co.jp/csr/>



トップメッセージ

未来へ継承すべきもの、それはBXグループのスピリット

2015年に創業60周年を迎えたBXグループ。2016年は次の60年に向けた最初の年であり、2020年度を最終年度とする新中期経営計画始動の年でもあります。この節目にあたり、BXグループが今後さらに成長していくために大切にすべきスピリットについて、茂木会長と潮崎社長が語ります。



活動にしても多くの従業員が自主的に参加しています。素晴らしい日本の国民性の現れのように思えます。こうしたことを継続するために何が必要か。CSV (created shared value: 共有価値の創造) という言葉がありますが、V (価値) の考え方を随所に取り入れることが、長く続ける秘訣になると考えています。

—— 未来に継承すべきBXスピリットとは何でしょうか。

潮崎 それは社是「誠実・努力・奉仕」であり、そこに込められた「革新と挑戦」の精神でもあります。私が新人の頃、社是は木に例えると「根」であり、根が腐れば木も枯れてしまうと教えられました。今の時代、企業グループにとって「一体感」が最も大切だと考えています。社是の精神をもとに先人たちが築き上げてきた歴史、風土、文化を、従業員一人ひとりが大切に思い合うことが一体感の「根」であろうと。

一体感を醸成するためにも、グループ全18社約5千人の従業員と当社と関わりのある全ての人が幸福でなければいけません。これらステークホルダーの方々の最大幸福を実現することが、私の最大のミッションであると考えています。

文化シャッター株式会社
代表取締役社長
潮崎 敏彦



文化シャッターの歴史は、新しい価値創造の歴史

—— 文化シャッターが誕生した経緯と社名の由来を教えてください。

茂木 文化シャッターは二人の兄弟によって誕生しました。東の創業者は兄の関本亘(もとむ)、西の創業者は弟の東海亭(たかし)です。姫路で建築金物類を扱う金物店を営んでいた弟東海から、自分の店舗に軽量シャッターを取り付けたと聞いた兄の関本は、早速姫路までそれを見に駆けつけました。旧来の板戸に不可欠の戸袋が要らないように、防犯、防風も完璧で、防火にもなる。これは絶対に将来性があるとシャッターの製造を決意したと聞いています。

潮崎 当時の日本は高度経済成長期で、人々のライフスタイルが大きく変わり、「テレビ」「冷蔵庫」「洗濯機」の「三

種の神器」が驚異的に普及した時代でした。中でもニューファミリーの象徴ともいえる「文化住宅」や「文化包丁」「文化鍋」など、当社の社名に冠した「文化」は時代の最先端、最新技術の代名詞だったのです。

また、当時の社長が列車の窓から外を眺めていたところ、まだ未開拓の地が多かったことから、自らが開拓者として「cultivate (耕す)」することを決意し、この言葉を語源とする「culture (文化)」を社名にしたという逸話も残っています。

—— “技術の文化”とうたわれる、その源泉は何でしょうか。

茂木 文化シャッターは昨年創業60周年を迎えました。その歴史はまさに時代、時代における「新しい価値創造」の歴史といえます。創業当初から、常識にとらわれずに「今までになかった便利」を生み出すことに果敢にチャレンジした先人たちの精神が「技術の文化」と市場から評価されるルーツなのだと思います。社是に「誠実・努力・奉仕」とありますが、創造的な目標を掲げ、新しい「もの」や「こと」への挑戦を意味する「努力」が、BXグループの伝統となっているのです。

しかし一方で、「技術」とは商品に関わる分野だけではありません。営業や業務、設計、工務、工事、メンテナンスといった、お客様につながるすべての分野に「技術の文化」は根付いているのです。従業員一人ひとりのたゆまぬ努力によって、イノベーションを起こしていくこともまた、技術なのです。

潮崎 現在、当社グループは「技術の文化」を土台に、「快適環境のソリューショングループ」のさらなる進化をめざしています。この快適環境とは、人々が「安心」「安全」に暮らせることが大前提です。

例えば、1970年代には、デパート火災を契機に防火性

だけでなく遮煙性にも優れた防火・防煙シャッターを開発。そしてお客様に私たちの提供した商品を末永くご使用いただけるよう、24時間365日対応するアフターサービス体制を構築しました。その後も時代のニーズを受け、防犯性能の高い製品を拡充し、一定の防犯性能を評価した「防犯性能の高い建物部品目録」には、当社グループの製品が多数登録されています。

さらに、省エネ効果の高い製品の開発や、製造過程での省力化など、地球温暖化防止の取り組みを進める一方、止水事業など環境の変化に適応するためのソリューション提供に注力しています。当社グループが培ってきた技術力で、社会的役割をしっかりと果たしていく。その積み重ねがこの先の当社グループの歴史を形作っていくものと信じています。

社是とそこに込められた精神を大切に、一体感のあるグループにしていきたい

—— BXグループが今後注力すべきCSRの取り組みは何でしょうか。

茂木 「快適環境のソリューショングループ」として常に進化し続けることですね。絶えず変化する社会課題を解決するための取り組みを追求すること。それらの取り組みを継続していくことで、やがてはCSRの観点からもBXグループらしいと言われるようになっていくと思っています。

潮崎 CSRで最も重要なのは法令遵守です。グループ従業員一人ひとりがしっかりと遂行しなければいけません。次に社会、地域への貢献です。東日本大震災以降、また、今年4月の熊本地震でも見受けられましたが、ボランティア活動が盛んになりました。当社グループの富士山清掃



文化シャッター株式会社
代表取締役会長
茂木 哲哉

トップメッセージ Q&A



文化シャッター株式会社
代表取締役社長

潮崎 敏彦

次の60年を見据えて ～新中期経営計画の概要とポイント

Q. 2015年は長期経営計画と第3次中期経営計画の最終年度でした。振り返ってみて、成果はいかがでしたか。

A. 二つのコンセプトが事業の根幹に息づく

文化シャッターの歴史は、その時代の社会課題に向き合い、価値創造への挑戦の積み重ねでした。創業当初からお客様目線に立ったものづくりの精神を貫いたからこそ、今のBXグループがあります。

お客様から末永くご愛顧いただくために、10年間の「長期経営計画(2005～2015)」の骨子として、「お客様に『安心』『安全』を提供できる『快適環境のソリューショングループ』をめざす」を長期ビジョンとして掲げました。

お客様の生活全般を把握することで本当に必要とされる製品やサービスを提供する「ライフ・イン」と、末永く「安心」「安全」にご使用いただくことで、お客様との信頼関係を築いていく「ライフロング・パートナーシップ」。この二つのコンセプトが事業の根幹に息づいていることが、この10年の成果であり、今後も継承すべき当社グループ不変のDNAとなりました。

長期ビジョン達成を目指した“革新”の3年

「第3次中期経営計画(2013～2015)」は、創業以来のものづくりの精神を進化させ、お客様の生活に深く入り込み、感動していただけるような高付加価値を創造・追求す

る“ことづくり”を推進することで、長期ビジョンの達成をめざしました。

例えば、業界初となる耐震性に優れた高齢者住宅向けの引き戸や、HEMSとの連携によりスマートフォンでの遠隔操作が可能な住宅用窓シャッターの開発等、数々の新製品をリリースするなど、「エコと防災」をキーワードに新製品や新事業の立ち上げに注力しました。また、起業家精神を持つ人材を育てるため、人事制度の拡充を図りました。自らの枠にとらわれず、あらゆる分野に革新的な発想を持つイノベーターが今後、グループを牽引してくれることを期待しています。

昨年まで10年間の長期経営計画を進めてきましたが、リーマンショックや東日本大震災など、厳しい環境下にあり当初は目標を達成できませんでした。しかし、最終となる第3次中期経営計画の成果として、当初の目標である営業利益率6.6%を超える7.1%を達成できたことは、大きな変革とっていいでしょう。

売上高 143,180百万円 / 営業利益率 7.1%
6期連続の増収、3期連続の過去最高売上を達成

Q. 4月に始動した新中期経営計画は「5ヶ年計画」となっています。その理由を教えてください。

A. ポスト2020を見据えて

これからの5年間は経営の転換期になります。東京オリンピック・パラリンピックまでは民間設備投資による後押しにより、2018年が仕事量のピークを迎えると予測しています。そしてオリンピック以降のBXグループのあり方を

定めるための準備期間とも言える5年間となるでしょう。新規事業の立ち上げや事業領域を拡大するM&Aの積極展開、海外事業の売上高を2020年度までに現在の3倍に増やしたいというも、当社グループを強固な経営体へと成長させ、このポスト2020年への備えとするためです。

Q. 新中期経営計画の基本的な考え方と骨子について聞かせてください。

A. 従業員に夢を与えられる計画

5年後のBXグループの姿を明示することで従業員に夢を与え、進むべき道に向かって自主的に行動して欲しいという思いがあります。明るく、元気に、素直に。「明・元・素」は当社グループに息づく文化の一つです。グループ全18社の従業員と当社に関わりのある協力会社、施工会社など、全ての人々の幸せを実現することが、私が社長に就任したときに一番に決意したことです。そのために、まずは2016年度からスタートさせた新中期経営計画を達成させることだと考えています。

新中期経営計画の内容(2021年3月期の目標)

基幹事業売上高	1,279億円(売上比率 64.0%)
注力事業売上高	602億円(売上比率 30.1%)
連結売上高	2,000億円

「基幹事業」の拡充

主力のシャッターとドアを中心とした既存事業の強化・拡充を図ります。成熟した市場では、常に化する社会情勢やお客様のご要望にお応えできる高付加価値の追求を怠らないことが大切です。

軽量、重量、防火シャッター等、それぞれにおいて高付加価値の提案型商品の拡充を図り、社会やお客様への総合的なコンサルティング力で事業の拡大をめざします。また、今後5年間を見据え、大手顧客対応力を強化し、東名阪を中心に、営業職と現場管理を行う工務職を増員して、東京オリンピック・パラリンピック、再開発等の大型現場に対応できるよう注力します。



当社公式オンラインショップ(楽天市場)
http://www.rakuten.co.jp/bunka-s/

さらに今年度は、インターネット販売に参入しました。より気軽に、商品を比較検討していただけるよう、お客様のご要望にお応えできる商品をライン

アップしていく予定です。すでに多くのお問い合わせをいただいております。新たな販売チャンネルとして期待しています。

「注力事業」の体制強化

さらなるグループの発展を担う事業を、注力事業として展開していきます。

エコ・防災事業は継続して注力すべき事業と捉えています。さらに海外事業では、ベトナム、台湾、インドネシアにある拠点を中核に、ASEAN(東南アジア)を中心に販路を拡大し、事業の強化を図ります。この度、ベトナムの樹脂・アルミサッシのトップメーカー Eurowindow joint Stock Company との資本提携を行ったことにより、ベトナム国内における当社ブランドの浸透にも期待しています。また、改修や耐震工事などのビルリニューアルと住宅等のリフォームをロングライフ事業とし、ストック市場へも注力していきます。6月より義務化された防火設備の点検報告制度への対応も、重要な注力事業です。当社は創業まもなくして業界初のアフターサービス制度をスタートさせた歴史があり、まさに事業を活かした社会的責任を発揮する機会だと考えています。



Eurowindow joint Stock Company

快適環境のソリューショングループに終わりはありません。さらに進化させ、急速な変化にも対応しうるレジリエントなグループへと成長させることが私の使命だと思っています。それが私を育ててくれた文化シャッターへの恩返しであり、未来永劫、継続していきような経営をしていきたいと考えています。

BXグループのCSR

BXグループの持続的発展

持続可能な社会の実現

BXグループの事業とCSR

「お客様の幸せ」の実現をめざし、事業とCSRを一元的に推進します

BXグループでは、「お客様に『安心』『安全』を提供できる『快適環境のソリューショングループ』をめざす」を長期ビジョンに掲げ、事業活動を行っています。

特に長期経営計画の最終3ヶ年となる第3次中期経営計画では、お客様目線の高付加価値を追求し、お客様の生活に深く寄り添う「感性あるものづくり」を“ことづくり”と定義し、新しい時代へ向けた「快適環境のソリューショングループ」をめざしました。

当社グループの社是・経営理念には、「お客様の幸せ」という創業者の思いが込められており、この思いを従業員と共有することで、社会とともに持続的に成長できるよう、BXグループはさらに進化し続けます。

BXグループの事業活動

経営戦略

長期ビジョン

お客様に「安心」「安全」を提供できる
「快適環境のソリューショングループ」
をめざす

経営姿勢

チャレンジ精神 (挑戦力)
沸き立つ集団 (総合力)
独創力 (改革力)

事業計画の推進

中期経営計画

ライフ・イン

お客様の視点と生活感覚に適した
商品やサービスを提供すること

ライフロング・パートナーシップ

商品やサービスを通じてお客様の信頼を高め、
いつまでも末永くご愛顧いただくこと

企業革新の実現

- 営業力の革新
- 生産力の革新
- 商品力の革新
- 組織力の革新
- 経営基盤の革新

成果

事業を通じてステークホルダーのみなさまと
共有できる価値を創造する“ことづくり”で
社会とともに持続的に成長する

製品・サービスを通じた
社会課題の解決

→ P15・16

事業プロセスにおける
社会・環境への配慮

→ P13・14

コーポレートブランド



→ P1

BXは、当社グループが常に未知への挑戦を続け、進化していく姿を示すシンボルです。

活動の拠り所

CSR

CSR憲章 → P21・22

CSR行動指針 → P21

社 是 → P9

経営理念 → P9

CSRの原点

「お客様の幸せ」のために、常によりよい商品を提供することで社会のお役に立つ」という、奉仕の精神こそが私たちBXグループのCSRの礎となっています。

創業当初から買ってきたお客様目線のものづくりの精神と技術力で、お客様の暮らしに「安心」「安全」を提供する使命と役割を果たしてきたことが、今のBXグループの基盤をつくり、お客様をはじめとするステークホルダーのみなさまから信頼を得ることに繋がっています。

社 是

「誠実」

心のふれあいである。
真心のふれあいで信頼は生まれる。

「努力」

創造する行為の持続力である。

「奉仕」

自発的な行為、行動でお客様や社会のお役に立つこと。
お客様の立場に立った思いやりの心であり、
いたわりの精神である。

経営理念

私たちは、常にお客様の立場に立って行動します
私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します
私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します

BXグループのステークホルダー

BXグループは、お客様に新たな感動や気付きを呼び起こし、新しいライフスタイルを提供する高付加価値の創造をめざしています。お客様の生活に寄り添い、感性を持って「見る」こと。そのために常に多様なステークホルダーのみなさまとの対話を重ね、ご要望やご期待に込んでいるかを検証できる、質の高いコミュニケーションを実践しています。

これらの機会をとおり、みなさまにBXグループのめざすべき姿やそれを実現させるための取り組みについてご理解、ご協力をいただくとともに、みなさまの声に真摯に耳を傾け、事業活動に反映させています。

企業市民としての主な責任

- 新しいニーズへの的確な対応
- 安全な商品の供給
- サービス品質の向上
- サポート体制の充実

お客様

- 新しいニーズへの的確な対応
- 人材の確保・技術者の育成
- 技術力の向上

建設
建築業界

- 誠実な情報公開
- 経営の透明化
- 企業価値の向上と安定的な配当

株主
投資家

- ワークライフバランスの実現
- 人材育成
- 労働安全衛生

従業員

- 環境負荷を軽減した企業経営
- 環境配慮技術・商品の講演会発表
- 自主的な環境保全活動

地球環境

- 法令の遵守
- 公共政策や諸活動への協力

行政

- 新興国の需要急増への対応
- 企業市民としての社会貢献
- スポーツ・文化活動の支援
- 人道的社会貢献 ● 雇用の創出と拡大

地域社会

- 公平・公正な取引
- 適切な競争環境の整備
- 施工技術者の育成

お取引先

主なコミュニケーションの機会

- 業務上での直接的なコミュニケーション
- ショールーム
- お客様サポート
- WEBサイト

- 業界団体の活動
- 展示会への出展
- ライフインセンター「体感ゾーン」、工場見学

● ショールーム

- 株主総会
- 決算説明会
- アニュアルレポート・株主通信
- WEBサイト上のIR情報開示

- グループ内人材交流制度
- 各種研修
- グループ広報誌
- イントラネット

- 展示会への出展
- 環境配慮技術・商品の講演会発表
- 清掃活動やイベントへの参加

- 展示会への出展
- 自治体との災害協定

- 被災地の復旧・復興
- 地域の防災イベントへの参加
- アルティメット競技 (文化シャッター「Buzz Bullets」の活動)

- 海外拠点での取り組み
- 学校教育支援活動
- ライフインセンター「体感ゾーン」、工場見学

- 説明会や調査の実施
- 商品知識や専門的技術の習得支援



展示会出展ブースの様子



グループ内人材交流制度 (海外派遣制度)



文化シャッター「Buzz Bullets」の活動



ライフインセンター見学者のみなさま

中期経営計画の 成果とその先へ

第3次中期経営計画の主な施策と成果

2015年度は長期経営計画の総仕上げとなる第3次中期経営計画の最終年度でした。

基本方針に「企業革新の実現」を掲げ、「営業力の革新」「生産力の革新」「商品力の革新」「組織力の革新」「経営基盤の革新」の5本柱を軸にした革新的な取り組みを実施しました。特に、お客様が体感できる感動や、新たな気付き、生活様式の提供などにより高い付加価値を提供する“ことづくり”をキーワードに、あらゆる分野におけるイノベーションを展開することによって当社グループの長期ビジョン達成をめざし、グループ一丸となって取り組みました。

2016年度からスタートさせた新中期経営計画においても、「進化する快適環境ソリューショングループ」として、さらに成長し続けます。

「革新」5本柱	中期経営計画の主な施策
営業力の革新	ドア事業の強化・拡充とグループシナジーの最大化
生産力の革新	施工力の強化
商品力の革新	ストック市場への対応強化
組織力の革新	「ライフ・イン」の発想による付加価値の高い提案型商品の拡充と拡販
経営基盤の革新	海外事業展開の拡充
	「エコ」と「防災」をキーワードとした“ことづくり”の実現
	人材育成の強化

営業力の革新

営業部門では、お客様の生活をより深く理解し、新たな感動を体験していただくための徹底した商品教育を通じ、お客様から信頼していただける高い商品知識を身につけ、優れた「総合提案力」で、お客様のご要望を顕在化する取り組みを強化しています。営業力の革新によってお客様のさらなるご満足をめざしています。

提案営業と営業支援強化でお客様に感動と信頼を提供する

“ことづくり”の視点から、お客様に合った付加価値を追求した提案営業による販売活動が、売上げ増という結果に結びつきました。また、設計データの共通化による作図作業のスピードアップ、工事員の増強など営業部門へのサポート体制をさらに充実させ、各部門間の連携により、お客様へのご提案から納品まで、全てのプロセスにおいてご満足いただけるよう努めました。

第3次中期経営計画開始前
(2013年3月期)比較
2016年3月期売上高

140%増

生産力・商品力の革新

出荷に生産を同期化させる「同期化生産の確立」や、工場の生産状況を営業と共有する「生産情報の見える化」等、生産基盤の再構築によりグループ全体の生産性を効率化し、生産総合力を強化することで生産力の革新に取り組み、さらに追求しています。

商品力の革新においては、お客様に喜んでいただける「オンリーワン、ナンバーワン商品」の開発に取り組むとともに、既存事業領域にとらわれない新商品企画プロジェクトやカンパニープロジェクトを推進するなど、革新的な取り組みに挑戦しています。

既存領域にとらわれないさまざまな視点で“ことづくり”を実践する

→ P13・15・17

営業部門へのサポート体制強化と同様、生産部門においても各工場における生産リードタイムの短縮や物流の見える化を行い、売上にかかるコスト削減を実現しました。また、開発部門や各プロジェクトにおける商品開発にとどまらず、「営業が商品を創る」プロジェクトでは、お客様と接する営業担当者からの発想を取り入れた新商品の発売も実施しました。



車載用自動開閉リモコン「セレクルーズ」

中計3ヶ年売上原価率
2.5%減

中計3ヶ年新商品販売実績
24商品

組織力・経営基盤の革新

「企業革新の実現」の達成には、従業員の成長は欠かせません。高いモチベーションと行動力を持ち、独創的な発想で革新を起こすイノベーター(革新者)の育成をめざし、さまざまな制度改革に取り組んでいます。一人ひとりが生き甲斐を持ち、「昨日とは違う新しいこと」に挑戦する姿勢こそがグループ全体の活性化につながります。BXグループが強固な組織力でさらなる成長を遂げることを期待します。

また、グループ会社の社名に「BX」を冠することで一体感を高め、グループシナジーの最大化を図っています。

「人材」を創出し組織を成長させる

→ P34

BXグループ全従業員を対象に、より広い視野で仕事の相互理解を深め、人的ネットワークを築き、自己の成長を促すことを目的とした、「グループ内インターンシップ」を実施しています。

またグローバル人材を育成する「海外派遣制度」のほか、起業家精神を育成する研修プロジェクト「起業塾」を開講するなど、従業員の成長を支援するさまざまな制度を拡充させることで、人材の育成に注力しています。

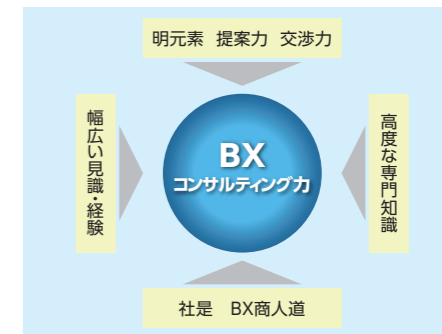


海外派遣制度

新中期経営計画(2016-2020)のVISION

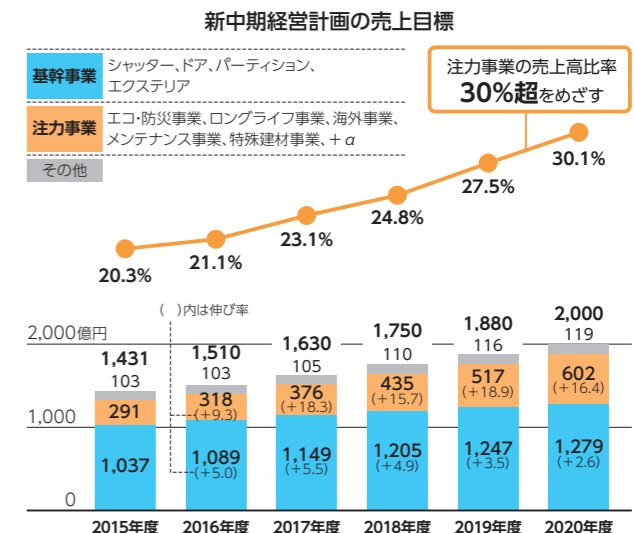
～進化する快適環境ソリューショングループ～

長期ビジョンである「快適環境のソリューショングループ」にさらに磨きをかけ進化させるのが、新中期経営計画の「ポスト2020VISION」です。従業員一人ひとりがお客様や変化する社会情勢を感性を持って「見る」こと。ソリューションすべき課題に対し、解決へ向けて率先して働きかける「For you」の精神—すなわち社生に基づいたBX商人道を念頭に、潜在化したお客様のご要望を顕在化するBXグループならではの「コンサルティング力」で、お客様に感動を与える“ことづくり”を実践していきます。



新中期経営計画の概要

基幹事業を伸ばしつつ、注力事業を成長させ、次世代経営へ向けた進化をめざす。



事業プロセスにおける 社会・環境への配慮

BXグループは、開発から資材調達、販売、製造、物流、施工、メンテナンスまで、一連の事業プロセスにおいて、それぞれの分野での重点課題を掲げることで、「安心」「安全」の品質向上を図っています。またあらゆるプロセスで環境負荷の低減に努め、効率的なバリューチェーンの実現をめざし、プロセス全体の総合力を高める取り組みを行っています。



効率的なバリューチェーンの実現

- 商品・サービスの情報提供・共有
- サプライヤーとのパートナーシップの構築
- 体制の整備・強化・拡充
- 公平・公正な取引
- 適正な競争環境の整備

社会面

それぞれの分野での重点課題への取り組み

● 新しいニーズへの的確な対応 → P23

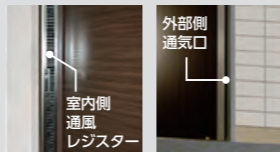
中期経営計画の主な施策

「ライフ・イン」の発想による提案型商品の拡充と拡販

お客様の生活全般を捉えた感覚や視点で、必要とされる製品やサービスを提供する「ライフ・イン」のコンセプトのもと、お客様の生活に最適な提案型商品の拡充に努めています。



自動閉鎖装置付き引き戸
「カムスライダー屋外タイプ」
雨水対策を施した屋外タイプの引き戸



室内側
通風
レジスター
外部側
通気口
通風機能付きマンションドア
扉を閉じたままの通気が可能で
換気扇作動時も開閉の負担軽減



雨戸後付電動窓シャッターリフォーム「ヨコタテ」
横引き雨戸を最短3時間の工事で
電動窓シャッターにリフォーム

● 情報管理の徹底 → P36

● 製品の安定供給 → P36

● 長期的な安全性の確保

● CSR調達の推進

● 協力会社との連携

● 安全な運行

● 人材の確保・育成

● 取引先の確保

● グループシナジーの最大化

● 物流の効率化

● 環境配慮設計 (LCA) の推進

中期経営計画の主な施策 **グループシナジーの最大化**

2015年4月より、主に住宅用基礎鉄筋ユニットや溶接金網、ラス等の製造・販売を行っているBX西山鉄網がグループに加わり、当社グループが18社となりました。今後は事業領域の拡大や商品の拡充、顧客基盤の強化等、高いシナジー効果の創出を図ってまいります。



BX西山鉄網郡山営業所

● 省エネ活動の推進 → P29

● 環境配慮技術・商品開発

● グリーン調達の推進

● お客様目線の総合提案

● ゼロエミッションの推進

→ P29

● エコドライブの推進

● 廃棄物の分別徹底

● 高付加価値商品の提案

● 商品知識・技術力の向上

● 修理・メンテナンス品質の確保

● 現場ルールの厳守

中期経営計画の主な施策 **施工力の強化・人材育成の強化**

従来は当社研修所内（茨城県結城市）にのみ設置していた工事員のための研修・教育施設を姫路工場内に増設し、東西2拠点において効率的かつ計画的に技術や知識を習得できる体制を整備することで、さらなる施工品質の向上を図っています。



溶接研修

座学研修

製品・サービスを通じた 社会課題の解決

BXグループの事業領域



BX
BX GROUP

BXグループは総合建材メーカーとして、主力のシャッターやドアの生産販売にとどまらず、止水事業や太陽光発電システム事業などの幅広い分野で事業を行っています。グループ各社の強みを融合させた総合力で、お客様のさまざまなご要望にお応えする製品・サービスを提供しています。

ゲリラ豪雨へ

簡単設置で水を止める!

簡易型止水シート「止めピタ」



● 建物の開口部にスピーディ・簡単・コンパクト。シートで止水するニュータイプ

高齢化社会へ

リニアの力で開閉を手助け

リニアモーター式電動タイプ「カムスライダー」



● 高齢者施設・福祉施設に少し動かすだけのアシスト操作で軽く・静かな引き戸

火災時に

確実に避難経路を確保!

開放軽減機構付き鋼製ドア「エア・バランス」



● 建物の防火扉に火災時に排煙設備が作動しても簡単に開く圧力差に負けないドア

BXグループのソリューション

ライフ・イン

市場ニーズに適した商品やサービスを提供する「マーケット・イン」の発想をさらに進化させ、お客様の生活全般を捉えた感覚や視点で、必要とされる製品やサービスを提供します。

製品やサービスを「安心」「安全」かつ末永くお使いいただき、お客様

との持続的な信頼関係を構築していくことで、広く社会に対して持続的に貢献していきます。

ライフロング・パートナーシップ

<p>ユニバーサルデザイン</p> <p>バリアフリー対応をはじめ、快適な環境をサポートする製品など、ユニバーサルデザインの視点で多様なニーズにお応えします。</p> <p>高齢者集合住宅向け玄関ドア 自由開き折れ戸 学校用間仕切 トイレブース</p>	<p>防災</p> <p>防火・防煙性能を有した製品やゲリラ豪雨などによる浸水被害を防ぐ製品を取り揃え、企業のBCP対策を支援します。</p> <p>着脱式止水板 止水ドア</p>	<p>防犯</p> <p>確かな防犯性能に加え、利便性や快適性、デザイン性までも追求した多様な製品を取り揃えています。</p> <p>マンション玄関ドア オーバースライディングドア 窓シャッター ガレージシャッター</p>	<p>省エネ</p> <p>生産・物流施設向け、住宅向けにも多岐にわたる製品バリエーションで社会の省エネ化に貢献します。</p> <p>高速シートシャッター ソーラーパネル ホームオーニング</p>	<p>リサイクル</p> <p>木の風合いとプラスチックの耐久・耐候性にも優れた100%リサイクル建材「テクモク」が、さまざまな建築物に採用されています。</p> <p>ルーバー使用例 遊歩道施工例</p>	<p>リフォーム</p> <p>既存住宅の質の向上や流通の促進、多様なニーズに対応した幅広いリフォームサービスを提供しています。</p> <p>リビング施工例 キッチン施工例</p>	<p>アフターサービス</p> <p>全国127ヶ所のサービスステーションでBXグループが提供する各種シャッター、鋼鉄ドア・パーティション等の修理・点検業務を行っています。</p> <p>定期点検 修理対応</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

地域を守り企業を守る 浸水対策ソリューション



取り組むべき課題の認識

拡大する水害リスク

近年、気候変動による異常気象が常態化しつつあります。例えば、台風は2014年から2015年にかけて19ヶ月連続で発生し、爆弾低気圧などによるゲリラ豪雨も頻発しており、局地的に被害をもたらす水害が増えています。2015年9月には関東・東北豪雨で鬼怒川が決壊。約7,000世帯が全壊、床上、床下浸水の被害にあいました。一般家庭ばかりではなく、企業にとっても浸水による被害は致命的になりかねない、回避すべきリスクです。

これまでに災害によって事業に影響を受けた経験がありますか？
(回答の多い順)

1 地震	45.6%
2 供給途絶(電力等インフラ)	12.6%
3 水害(津波以外)	11.7%
4 風害	7.6%
5 供給途絶(資材・部品等)	7.5%
6 津波	6.4%

出所) 内閣府防災担当「企業の事業継続及び防災の取組に関する実態調査」平成26年7月

水害に備えた事業継続計画

集中豪雨が頻発する状況にあっては、企業も水害への対策が求められます。災害時においても事業資産の損害を最小限にとどめ、事業を継続、早期に復旧させるためには「事業継続計画」(BCP: Business Continuity Plan)の構築が必要です。BCPの策定を核に、止水板などの設置による施設の防水対策、従業員の防災意識の向上など、「自助」の取り組みを積極的に進めることが大切です。

BXグループの事業戦略と実績

多様なソリューションで 適材適所の浸水対策を可能にする

都市部を中心にゲリラ豪雨などによる水害が社会問題となる中、当社は業界に先駆けて止水事業を立ち上げ、オリジナルの止水商品を開発、発売してきました。シートで止水するという、今までにない斬新なアイデアの簡易型止水シート「止めピタ」(→P15-16)。通常のドアのように手軽に開閉できる操作性を兼ね備えた止水ドア「アクアード」。開口部に金具で簡単に固定できるよう工夫したBX止水板「ラクセット」。いずれの商品も止水性能はもちろん、実際にご使用いただくお客様の立場で「簡単・スピード設置」のコンセプトに、徹底的にこだわって開発しました。使い勝手の良さ、導入しやすいコストが受け入れられ、自治体や企業のBCP対策として、また一般のお客様の浸水対策としても多くご採用いただいております。「超」モノづくり部品大賞<生活関連部品賞>などの評価もいただいております(→P24)。止水のニーズは、今後も増加していくことが予想されています。新中期経営計画では、「エコと防災」分野を注力事業として位置づけました。今後もお客様や、社会のニーズを捉えた新しい止水商品を提案し、広く普及させることでお客様や社会の課題解決に貢献していきます。



文化シャッター
取締役上席執行役員
新事業・新商品担当
嶋村 悦典

より詳しい情報

文化シャッター 止水製品シリーズ で検索



その場にいる人員で 最小限に浸水被害を制御

普段使いの操作性で
高い止水効果を発揮

止水ドア「アクアード」

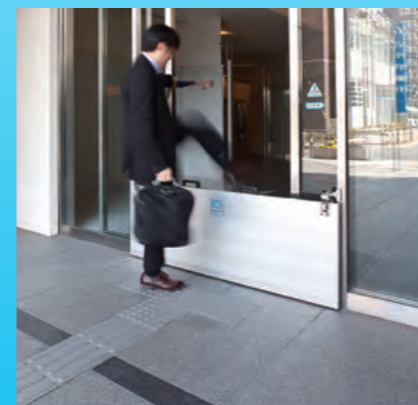
一般的なスチールドアと同等の軽い操作性と、高い止水機能を持ち合わせ、重厚な水密ドアに比べて低コストを実現させました。非常時にはレバーを引き上げるだけで屋内への浸水を防ぎます。



工事不要！
簡単設置の浸水対策

BX止水板「ラクセット」

人の出入りの多い店舗や出入り口が1ヶ所しかない建物では浸水対策が困難でした。BX止水板「ラクセット」が水圧をしっかり受け止めるので、設置後でも扉の開閉が可能です。



ステークホルダーの声

一般財団法人建材試験センター

常務理事 中央試験所長
川上 修 様



ゲリラ豪雨などで都市の排水能力を超える都市型水害が増加しており、浸水リスクの高い建物や地下進入口等の防水対策として、防水性能を持つドアや止水板が急激に普及しています。これらの評価には旧郵政省基準がありましたが、試験方法や対象製品が限定的でした。このため、防水性能を客観的に判断できる試験法の標準化が求められ、適用範囲、測定条件、手順等を明確に規定した建材試験センター規格「浸水防止用設備の浸水防止性能試験方法」を制定しました。既に文化シャッターでは本試験方法により浸水防止性能を確認しています。今後、透明性の高い試験データを得られる本試験方法が、当該設備の普及に寄与できることを期待しています。

〈一般財団法人建材試験センター <http://www.jtccm.or.jp/>〉

一般財団法人国土技術研究センター

研究主幹 首席研究員 首席研究員
岡安 徹也 様 / 沼尻 恵子 様 / 朝日向 猛 様



建設全般に係る研究の一環として、都市・地下空間の浸水対策に関する調査研究に取り組んでいます。河川・下水道等の公共施設は整備途上であり、気候変動の影響により、浸水被害が頻発化していることから、浸水に備えた企業や個人の対策が重要になっています。ハザードマップ等により浸水リスクを認識し、BCP/BCM等の対策を検討し、設備の高上げや、浸水防止設備の整備等、対策が望まれます。国・地方公共団体も補助や情報提供等の支援を講じています。浸水対策が進み、安全な都市・地下空間が形成されるよう、市場を通じた製品開発・供給の活性化、性能やコスト等のニーズにあった多様な選択肢の提供を期待しています。

〈一般財団法人国土技術研究センター <http://www.jice.or.jp/>〉

BCP対策に当社製品を採用したお客様

古賀オール株式会社 常務取締役統括工場長
織田 紀彦 様



古賀オールでは、発災時に会社の資産を守り、事業・業務の継続と、お客様への安定供給を確保するため、さまざまな災害を想定したBCP対策には特に力を入れています。当工場で行っている各種鋼板はその特性から、昨今のゲリラ豪雨に代表されるような浸水による被害は絶対に回避しなくてはなりません。文化シャッターの簡易型止水シート「止めピタ」は、突発的な豪雨で早急に対処が必要なきでも、その場にいる少ない人員で、短時間に設置することができ、さらなるBCP対策の強化に役立っています。



古賀オール 東京工場

〈古賀オール <http://www.koga-all.co.jp/>〉

災害に強い地域をつくるために、 産官民で顔の見える関係づくりを。



「快適環境ソリューショングループ」のさらなる進化をめざし、「エコと防災」をキーワードに事業を展開しているBXグループでは、近年頻発している大規模災害を早急に対策を要する社会課題であると認識し、グループをあげて防災ソリューションの開発・拡充に取り組んでいます。

また、企業は地域における課題解決の新たな担い手として、行政や地域のみならずとの連携、協働は必要不可欠と捉えており、今回のダイアログでは、「災害に強い地域づくりに果たす企業の役割と期待」をテーマに、文京区、社会福祉協議会、民生委員のみならずと意見を交換しました。

ダイアログ開催概要

開催日：2016年6月9日（木）
 場所：文京ボランティア・市民活動センター「フミコム」
 出席者：（下段写真真左から）
 社外参加者
 文京区総務部（危機管理室）防災課長 橋本 淳一 様
 社会福祉法人文京区社会福祉協議会 係長 平石 進 様
 文京区大塚地区民生委員児童委員協議会 会長 下田 和恵 様
 BXグループ参加者
 文化シャッター株式会社 止水事業部長 鈴木 松三郎 様
 文化シャッター株式会社 人事総務部 課長 佐久間 真哉 様
 文化シャッターサービス株式会社
 東京サービス支店 管理工務部長 高橋 和彦 様
 ※ 所属・役職は開催当時のものです。



集中豪雨への備え

浸水に対する自助の備えが大切

文化シャッター

ゲリラ豪雨などによる浸水被害の多発を背景に、当社では早くから止水事業に参入し、さまざまな製品を提供しています（→P17-18）。大型施設に特化した浸水防止用設備が多い中、既存の建物にも対応できる使い勝手や、扱いやすさを追求した製品を拡充。地下に重要設備を擁する建物や、発災時に対策本部の拠点となる自治体施設をはじめ、多くの企業のBCP対策としてご採用いただいています。異常気象が常態化する中、いざという時のための「自助の備え」をサポートしています。

社外参加者の意見

- 文京区では水害ハザードマップを作成しているが、浸水被害が想定される地域の方々には「自ら備える」ことを啓発していきたい（橋本様）。
- 保育園など女性が働く施設は多く、手軽に浸水対策ができるのであれば、もっと製品をアピールして欲しい（下田様）。

大規模災害への備え

“顔の見える関係”が地域防災を強化

文京区

文京区では3つの視点から大規模災害に備えています。1つ目は建築物の耐震化・不燃化を促し、災害に強い街づくりを進めるとともに、災害時の要配慮者に対する予防・応急対策を強化することで、人的被害を最小限に留める。2つ目は「自助・共助」の強化で、区民の防災意識をさらに啓発し、地域の防災行動力の向上を図る。3つ目は区の災害対応力の強化で、区の応急対策の活動態勢を強化し、広域的かつ多様な連携体制を構築するというものです。また、企業との連携は地域の防災力向上に必要であり、企業には地域の一員として区の防災訓練などに参加していただくなど、防災を通じた交流が深まることを願っています。

企業に対する期待・課題

- 区内で13万人と想定される帰宅困難者の受け入れや、応急・復旧対策等に企業の得意な面を活かして欲しい。
- 企業との連携は地域防災に不可欠。社会福祉協議会とも連携し、区民と企業、企業と行政がつながることが重要。

社会福祉協議会

社会福祉協議会（以下「社協」）は、社会福祉法に基づき地域福祉の推進を目的に、全国・都道府県・市区町村のそれぞれに組織されている非営利の民間団体です。大規模災害時において、ボランティアの支援活動が被災地の復旧復興に大きな役割を果たしています。文京区の社協では災害時に「災害ボランティアセンター」を設置し、ボランティアの力と区民の支援ニーズをコーディネートすることで、行政だけでは取り組むことのできない部分の復旧復興支援を行います。そのため、普段から災害ボランティアセンターを運営するスタッフの育成をはじめとして、行政や地域・関係機関等とのネットワークの形成などを行っています。

企業に対する期待・課題

- 人々の生活課題が複雑化し、企業の力がより求められている。
- 災害ボランティアセンターの運営では、企業には主にハード・ソフト両面での協力を期待したいが、普段からの関係づくりが大切だと考えている。

文京区民生委員

文京区の民生委員は、阪神・淡路大震災を教訓に1997年に防災部会を立ち上げました。発災時には、自力での避難が難しい要支援者の支援活動を行います。日頃から防災訓練に参加し、要支援者の安否確認方法や、避難所運営技術を習得しています。発足当初から作成している行動マニュアルは、法改正や状況の変化に応じて更新しており、今回の熊本地震を踏まえ、再度見直す必要性を感じています。迅速、的確な支援活動を行うためには信頼関係が何よりも大切。そのため普段から要支援者一人ひとりを見守り、必要に応じて訪問しコミュニケーションを深め、「顔の見える関係」づくりに努めています。

企業に対する期待・課題

- 防災に関わりのない業種はなく、あらゆる分野の企業が得意な面を活かし、全ての人々が協力し合う必要がある。
- 避難所には学校が多く、防火・防煙シャッターが設置されており、発災時に確実に作動するよう平常時のメンテナンスが重要。

文化シャッター

防災フェスタ（→P28）への出展を契機に、文京区との間で「災害時における相互協力に関する協定」を締結しました（→P25）。当社は、企業は「公器」と考え、また文京区に本社を置く企業として、地域への貢献を模索していました。災害時に少しでも帰宅困難者等の安全確保に役立てることを願っています。また、東日本大震災の教訓から、シャッターの応急修理ノウハウの蓄積や、初動・応援などの体制強化を図るなど、本業での災害時対応に備えてきました。4月に発生した熊本地震では、グループ間の密な連携による応急修理、全国ネットワークを活かした物資等の支援などを実施しました。

帰宅困難者受け入れの課題

- 受け入れ人数など今後整備しなければならない課題が多い。
- 区内他企業との連携も必要であり、発災時のシミュレーションについてアドバイスをいただきたい。

平常時のメンテナンス

「改正建築基準法」への対応

文化シャッターサービス

火災の拡大を防ぐ防火シャッターは、発災時に確実に作動しなければなりません。そのため平常時のメンテナンスが重要であり、2016年6月施行の「改正建築基準法」で義務化された防火設備の定期報告制度は、全国127拠点、24時間365日の稼働体制を持つ当社にとって、メンテナンスの質をさらに向上する良い機会であると捉えています。今後、検査にあたる有資格者の確保、育成とともに、検査内容を充実させ、文化シャッターサービスというプロ技術集団として、地域社会の予防保全に貢献していきたいと思っております。

